丸彦渡辺建設に

グランファーレ札幌山鼻 グランフォレストの新築

日本グランデ

日本グランデ（札幌市中央区大通西5丁目1の1、平野雅博社長）は、分譲マンションのグランファーレ札幌山鼻グランフォレスト新築を主体、設備一括して丸彦渡辺建設に決めた。月内に着工する考えだ。

規模はRC造、地下1地上11階、延べ4653平方㍍。住戸は3LDK20戸、4LDK20戸の計40戸。太陽光発電システムを取り入れたマンション開発の初弾で、発電した電力をホールの照明など共用部分の電力の一部として活用する。

駐車場は41台分を設け、電気自動車の充電スタンド、コンセントも備える。

建設地は札幌市中央区南18条西9丁目687の5で、札幌市電静修学園前駅や札幌南高から近い。設計は自社。2012年2月の完成を予定している。

「管理戸数を5000戸に乗せるのが目標」と話す高橋社長

1級建築士事務所のスターマンプロジェクト（同）はこのほど、建設業許可を取得した。不動産の企画・ナインは年間25～30棟程度の新規開発を進め、既存物件を合わせた管理戸数は3000戸に達した。

価値と収益性に主眼を置いた土地の目利きや、自社で不動産の仲介店舗を持つことによるユーザーのニーズ把握、設計との密接な連携が成長を支えてきた。施工機能を新たに加えることで、経営基盤に厚みを増やす。

高橋社長は「当面、新規の開発は現状レベルを維持しながら、管理戸数を5000戸に乗せるのが目標だ。市内で500どマンションオーナーのリスク回避を図る。

ファクター・ナインは2001年に設立し、デフレ時代の温度差の解消や、意思疎通のスピードを速めることなどを目的に、スターマンプロジェクトを05年に設立した。

建設業許可の取得は、建設会社の破たんが目立っていることから、ユーザーの「迅速に対応してもらえない」といった状況に直面するのを避けなければならない。また、うちの企画に協力してくれている企業に"けが"をさせるわけにはいかない。われわれにはその責任がある」と話す。

許可取得後、札幌市西区二十四軒で1棟目（RC造、4階、延べ1784平方㍍）に着工した。

FM 管理業務に
(社)北海道ファシリティマネジメント協会
011-231-4851

アインファーマシーズ

医療モール開発を強化

調剤薬局経営大手のアインファーマシーズ（本社・札幌）は、札幌市内や東京都内などの人口集中地域で医療モール開発を強化する方針だ。2日に札幌市内で行った2011年4月期中間決算発表の場で、南雲正副社長が明らかにした。

同社の調剤薬局出店は、大規模病院に隣接する方式が主流。南雲副社長は「これまでのような出店も継続するが、並行して自らが主体となる医療モール開発を本格化し、最重要の課題である売り上げ拡大に結び付けたい」と述べた。

11年4月期中間連結決算は、売上高が前年同期比3・5%増の618億4000万円、経常利益が25・6%増の34億6900万円、純利益が25・8%増の16億9700万円で、4期連続の増収増益となった。

道有地先着順売却で1件追加

道総務部

道総務部は1日、道有地売却の先着順物件に札幌市西区平和2条7丁目196の13を追加した。申込期限は2011年3月22日。

面積は1132平方㍍。用途地域は第1種低層住居専用で、建ぺい率40%、容積率80%。最低売却価格は2446万円を設定している。

成は2011年2月末の予定。

の1。設計は司設計。完